運用ドキュメントに書く内容

[運用手順書は実際にリーダーとして活動する中で、リーダー(または、それに準ずる知識、権限を持った人)が中心となって 行う活動についてまとめたもの]

バージョン管理

- Node.js
- バージョンアップデート

アカウント管理

先端情報学実習で利用するアカウント一覧

(機密情報どうやって扱おうかな)

- google
- Notion
- Slack
- Zoom

アカウント管理者

- 先端情報学実習リーダー
- または、遊橋研究室メンバー

権限付与

- github の権限付与
 - o 権限付与可能対象リポジトリ
 - Unipp
 - Unipp-docs
 - o 実行可能者
 - 遊橋研究室が所有する github アカウントylab-dev保持者
 - o 権限付与方法(画像) <対象リポジトリ>→Settings→Collaborators→
- Firebase の権限

#アカウントの運用について Unipp の開発の際に用いるアカウントは以下の通り $\underline{ylab.dev@gmail.com}$ のみである。 パスワードに関しては、本ドキュメントに記載はしない。 教授に聞いてくれ

Firebase の運用に関して

Firebase に関して書くことはこの通りである。

Notion の運用に関して

Twitter アカウントにに関して